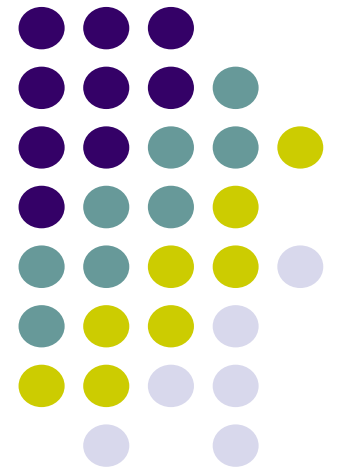
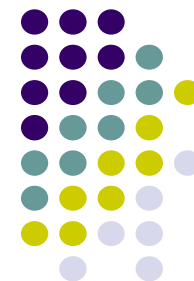


決算説明資料

(2012年3月期第2四半期決算)

2011年11月8日
東証2部・大証2部
オーナンバ株式会社





目次

1. 決算の概要 (BS、PL、C/F)
2. セグメント別業績
3. 2012年3月期上半期のトピックス
4. 2012年3月期下半期の経営戦略
5. 2012年3月期業績予想



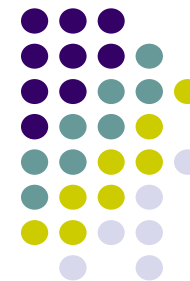
1. 決算の概要

－ P L － 『売上高・利益とも前年を下回る』

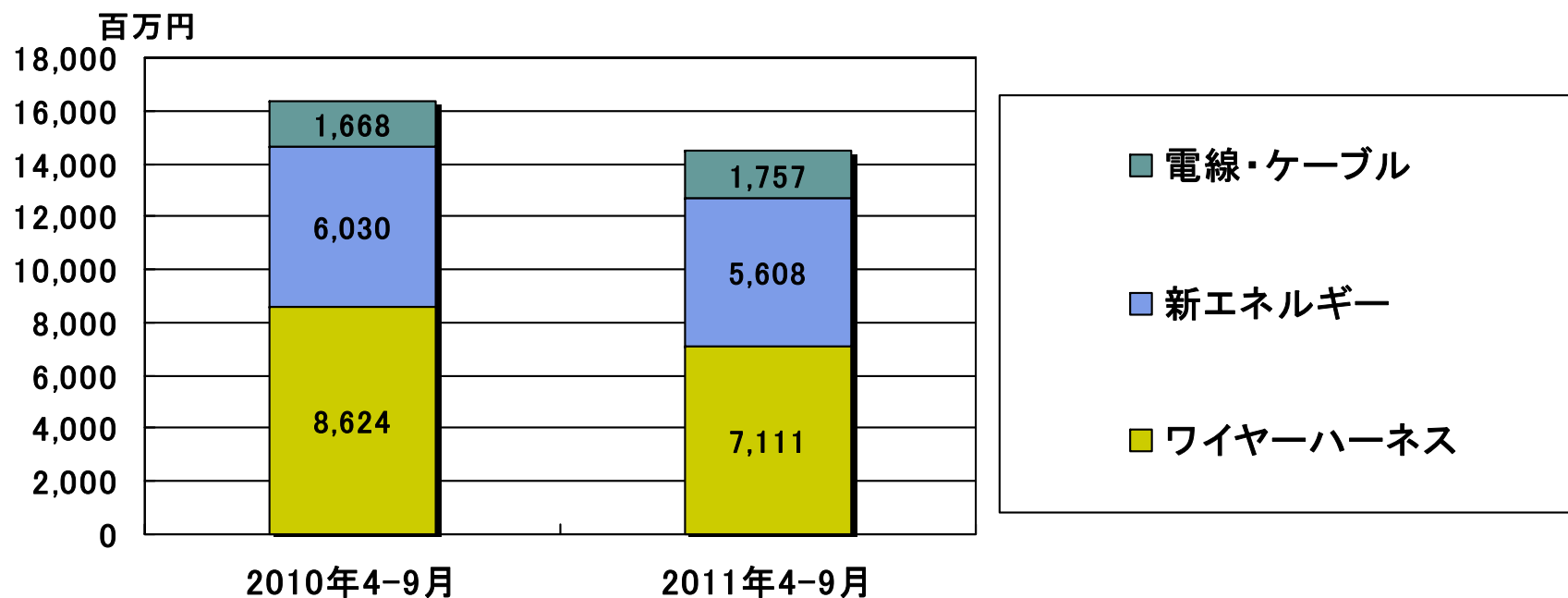
(単位：百万円)

科目	2010年4-9月		2011年4-9月		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
売上高	16,322	100.0%	14,476	100.0%	-1,845	-11.3%
売上原価	12,835	78.6%	11,732	81.0%	-1,102	-8.6%
販売費・一般管理費	2,581	15.8%	2,252	15.6%	-329	-12.8%
営業利益	905	5.5%	492	3.4%	-413	-45.7%
営業外収支	-70	-0.4%	31	0.2%	101	—
経常利益	834	5.1%	523	3.6%	-311	-37.3%
特別損益	-66	-0.4%	-57	-0.4%	8	—
四半期純利益	668	4.1%	207	1.4%	-461	-68.9%

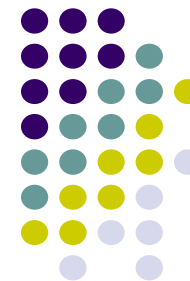
- ・売上高は、欧州のFITの削減で太陽光発電投資が減少し、当社グループの製品の販売が減少した。
- ・販売費・一般管理費は、給与・手当（△131百万円）、荷造運送費（△131百万円）等が減少した。
- ・営業外収支は、当期は為替差益に転じた。（+114百万円）
- ・特別損益は、投資有価証券の評価損の発生（81百万円）等による。



【市場別売上高】



- ・ 太陽光発電配線ユニットを含む新エネルギーの売上は7%減。
- ・ ワイヤーハーネスの売上は、薄型テレビ内部配線用ハーネスが大幅に減少した他、東日本大震災による得意先の生産停止・縮小の影響で減少した。
- ・ 電線・ケーブルの売上は東日本大震災の復興を見込んだ需要により増加。



【主要製品別売上高】

(単位：百万円)

	2010年4-9月	2011年4-9月	増減
太陽光発電配線ユニット	5,999	5,539	-460
薄型テレビ内部配線用ハーネス	2,623	1,495	-1,128
自動車搭載部品用ハーネス	470	435	-35
アミューズメント用ハーネス	385	247	-138
工作機械用ハーネス	198	247	49

- ・薄型テレビ内部配線用ハーネスは、2009年3月期をピークに売上が年々減少している。
- ・自動車搭載部品用ハーネスの売上はこの3年間ほぼ横ばいで推移している。
- ・アミューズメント用ハーネスは東日本大震災後の節電対応で投資が減少している。
- ・工作機械用ハーネスは、2010年9月期は金融危機の影響で極端に落ち込むもその後は回復傾向にある。



【設備投資の状況】

	2010年4-9月	2011年4-9月	増減	(単位：百万円)
有形固定資産取得額	376	418	+42	
減価償却費	290	277	-13	

主な投資内容

カンボジア子会社建屋新設
ベトナム子会社設備増設

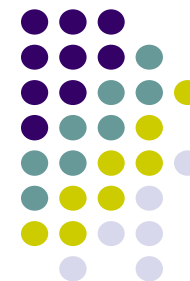
72百万円 ⇒ ワイヤーハーネス生産コスト低減
69百万円 ⇒ 太陽光発電配線ユニット仕様変更対応

【人員増減】

	2010年9月末	2011年3月末	2011年9月末
従業員	5,462人	5,236人	4,184人
臨時従業員	336人	280人	271人
合計	5,798人	5,516人	4,455人

増減の理由

受注の減少に伴い、中国・東南アジア子会社の作業人員の適正化を図った。



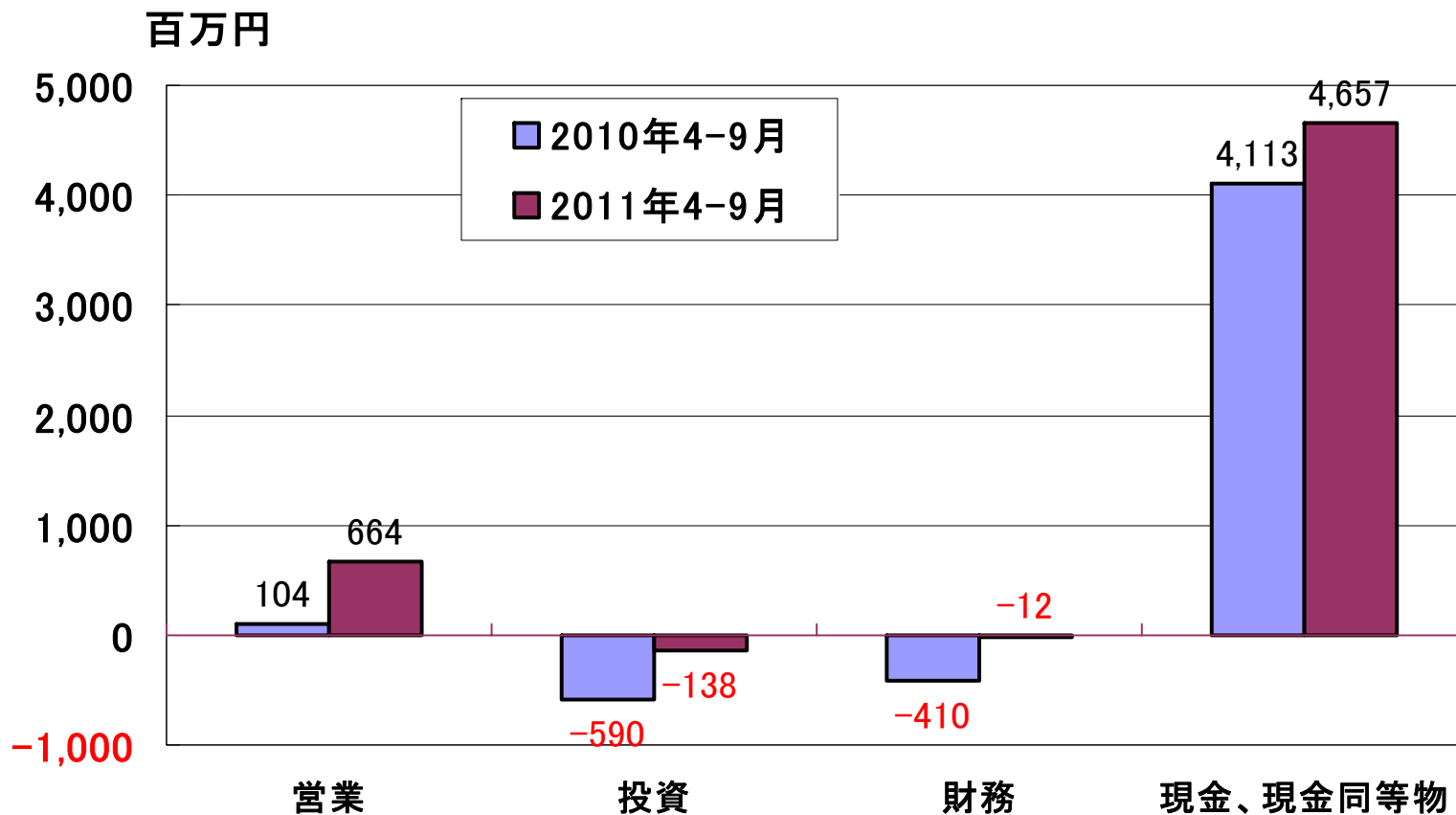
－ B S － 『受注の減少に応じ資産・負債が減少、純資産は増加』

科目	2011年3月末		2011年9月末	
	金額	構成比	金額	構成比
流動資産	18,851	77.9%	18,387	78.1%
(現金及び預金)	4,272	17.6%	4,877	20.7%
(売掛債権)	8,974	37.1%	8,057	34.2%
(棚卸資産)	4,836	19.8%	4,918	20.9%
固定資産	5,359	22.1%	5,169	21.9%
(有形固定資産)	3,636	15.0%	3,554	15.1%
資産合計	24,211	100.0%	23,557	100.0%
流動負債	9,069	37.5%	8,882	37.7%
(買掛債務)	5,819	24.0%	4,818	20.4%
(短期借入金)	1,995	8.2%	2,793	11.9%
固定負債	3,739	15.4%	2,947	12.5%
(長期借入金)	2,964	12.2%	2,253	9.6%
負債合計	12,808	52.9%	11,830	50.2%
純資産計	11,402	47.1%	11,727	49.8%
負債・純資産合計	24,211	100.0%	23,557	100.0%

- ・受注の減少に伴い、運転資金が減少・・・売掛債権、買掛債務。
- ・借入金は若干増加(+86百万円)も現預金が大幅に増加(+604百万円)
- ・純資産が増加し、自己資本比率が上昇。



-C/F- 【キャッシュフローの状況】



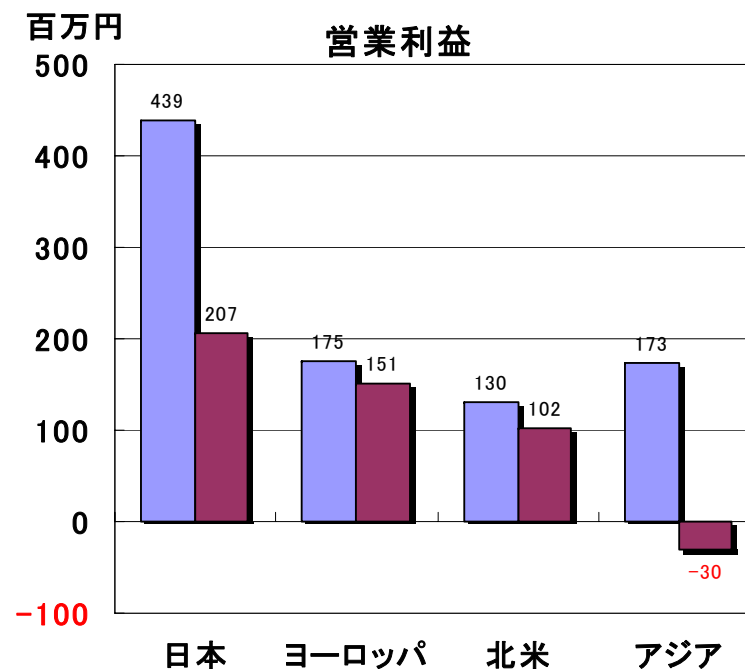
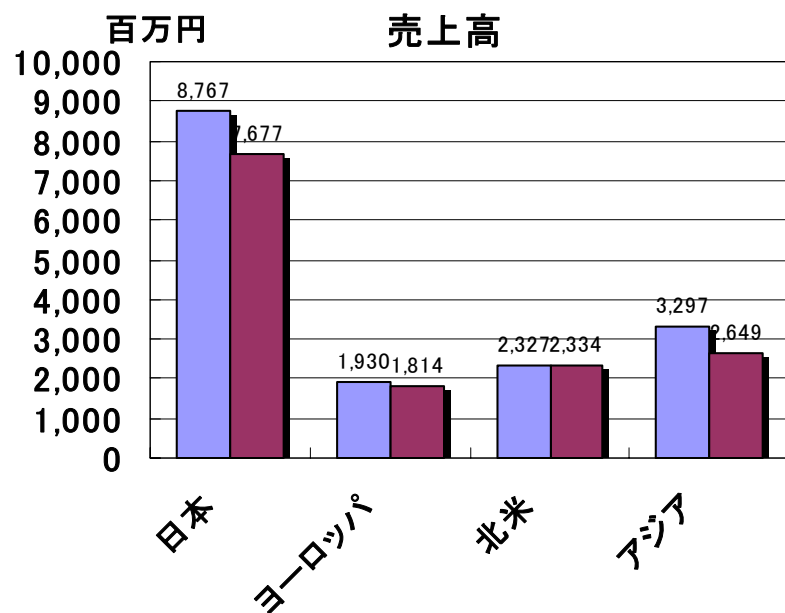
営業C/Fは利益増加と運転資金減少で前年度より増加。投資C/Fは有形固定資産の売却と投資有価証券の償還で減少。財務C/Fは借入金の増加が少ない。



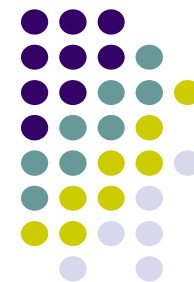
2. セグメント別業績

【セグメント別売上高・営業利益】

日本とアジアの売上が減少し、営業利益も減少した。



■ 2010年4-9月 ■ 2011年4-9月



3. 2012年3月期上半期のトピックス

① 事業環境の変化に対応

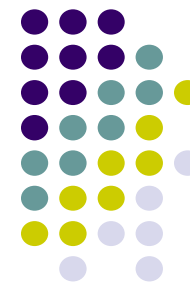
薄型テレビ用ワイヤーハーネスの需要減少に対応し、生産工場の体制の見直しを進めるとともに、LED照明等の新製品需要の開拓に注力した。

② 太陽光発電配線ユニットの低価格対応

太陽光発電パネルメーカーからのコストダウンに応えるため、VA提案品の開発、生産体制の整備、使用材料の現地調達を推進した。

③ カンボジア子会社の建設が完了

2011年9月末に建屋が完成し、11月より生産を開始する予定。



4. 2012年3月期下半期の経営戦略

① 新製品開発の促進

- ・太陽光発電用接続箱の拡販(7月に上市、11月に初納入)に注力する。
- ・来年7月の全量買い取り制度開始に向けた総合的な監視システムを提案する。

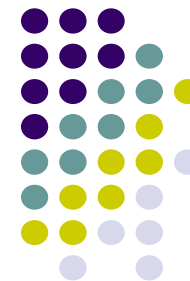
② 海外のローカル企業への拡販

- ・太陽光発電配線ユニットの新興国(中国・韓国・インド等)への販売活動を強化する。

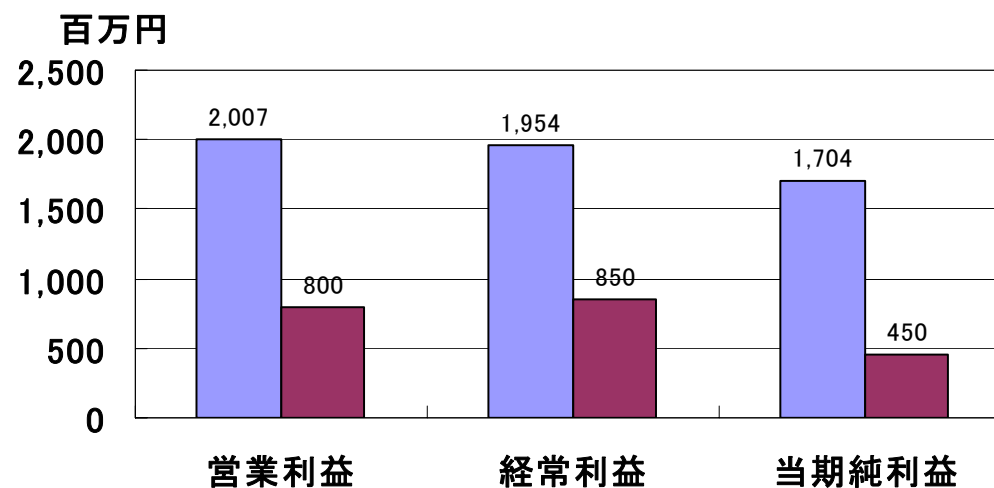
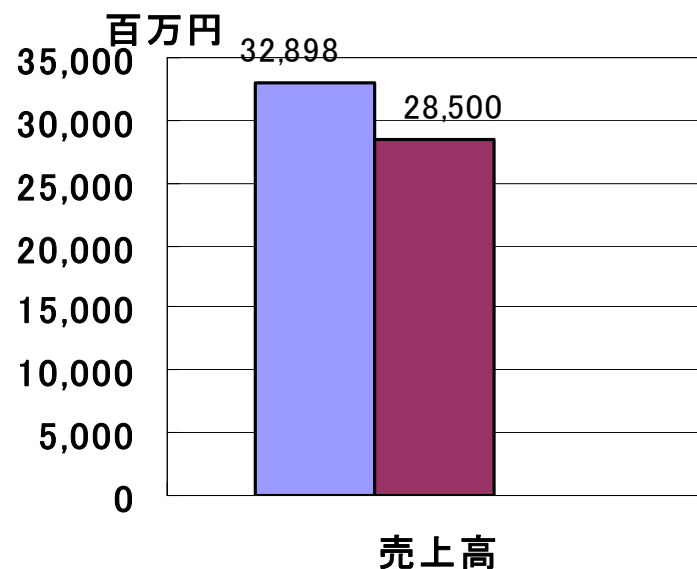
③ 材料の現地調達への推進

- ・現地の日系およびローカル部材メーカーの発掘と調達の促進に注力する。
(コスト低減および為替対策)

5. 2012年3月期業績予想



今期の業績予想は10月17日に修正値を公表。
上半期の実績と今後の需要予測を勘案して算出した。



■ 2011年3月期 ■ 2012年3月期



本資料の将来予想に関する記述は、経済情勢や社会情勢の変化により、実際の業績と異なる場合があることをご承知おき下さい。